



第93号 令和6年2月

編集発行 庄内教育事務所 指導課  
〒997-1301  
東田川郡三川町大字横山字袖東7番1号  
Tel.0235-68-1982/FAX0235-66-3015

## いじめ・不登校未然防止地区協議会(10月12日)

「子どもたちのいのちを守る教育～生徒指導上の課題から考える～」

### 1 主な講義内容

神田外語大学の嶋崎政男教授から上記のテーマで講義・演習をいただきました。これまでに重大事態の第三者委員会調査委員長を務めてきた嶋崎先生の御経験を基に、実際の事例を示しながらお話をいただき、参加者も自分事として受け止めることができました。子どもたちのいのちを守ることは、学校の危機管理体制の確立であることを再確認しました。

「子どもたちのいのちを守る教育」を進める視点を3点お伝えいただきました。

①確かな児童生徒理解の力 ②信頼関係を培う基本姿勢 ③保護者との信頼関係構築

また演習では、いじめの認知や認知件数のカウントについて、調査上の定義に則り、ペアで理解を深めることができました。

### 2 参加者の声(一部抜粋)

- 保護者への報告義務の重要性を改めて認識しました。
- 事が起きてからでは遅いということを入れて生徒のいのちを預かっているのだという意識を忘れないようにしたいと思います。
- いじめの訴えを受け止める際には、「客観的事実」と「心理的事実」が異なることを理解した上で、心理的事実をしっかりと受け止めることが大切だと思いました。
- 小さな問題を見逃さないように学校がチームとなり保護者や子どもとの信頼関係を築いていきたい。

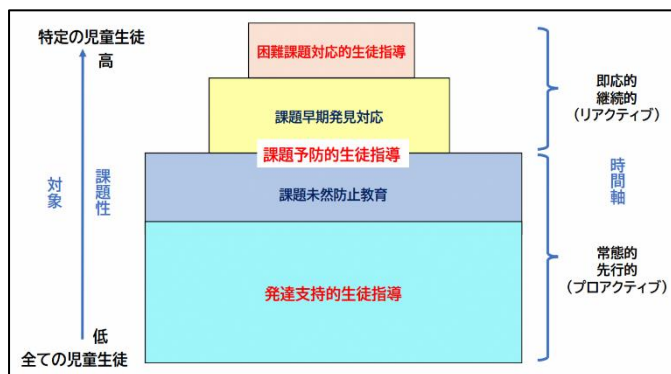


## 生徒指導提要改訂のポイント②～生徒指導の構造～

『生徒指導提要』改訂のポイント、第2回目は、「生徒指導の構造」について確認します。

生徒指導提要では、児童生徒の課題への対応を「時間軸」「課題性」「対象」の点から類別し、右図の2軸3類4層から成る重層的支援構造として示しています。

第1層「発達支持的生徒指導」や第2層「課題予防的生徒指導：課題未然防止教育」の充実が生徒指導上の諸課題の未然防止につながることから、「全ての児童生徒を対象に」「常態的・先行的(プロアクティブ)に」生徒指導を行うことや、「発達支持的生徒指導」を学習指導と関連付けて行うことが重要です。



## 幼稚園、認定こども園新規採用教員研修

### 第2回 庄内教育事務所における研修(11月28日)

#### 特別支援教育の視点から幼児教育について考える ～県立鶴岡養護学校の取組に学ぶ～

県立鶴岡養護学校を会場に、幼稚園、認定こども園新規採用教員研修を行いました。第2回の庄内教育事務所における研修のテーマは「特別支援教育」です。

幼児教育における特別支援教育の視点は、益々重要とされており、令和5年3月には、文部科学省・厚生労働省・内閣府から、個々の幼児の障害の状態に応じた指導内容や指導方法の工夫などについて解説した資料「障害のある幼児と共に育つ生活の理解と指導」が公表されました。また、第1回の教育事務所における研修の情報交換の時間でも、特別なニーズを持つ子どもとの関わりについて話題に上がっていました。

研修では、県立鶴岡養護学校の村上未紀校長先生から、学校の概要や特別支援教育について講義を頂戴しました。子どもと関わる上で大切にしたいことについてエピソードを交えてお話いただきました。その後、小学部、中学部、高等部の授業を参観させていただきました。研修者は、一人ひとりの強みやねらいに合わせた環境づくりや先生方のあたたかい関わり、協働しながら学ぶ児童・生徒の姿に多くのことを学ぶことができました。情報交換では、気になる子どもについて交流し、鶴岡養護学校の先生からアドバイスをいただきました。メモを取り、熱心に学ぶ研修者の姿がありました。研修から学んだことを共有する時間には、「一人ひとりに合わせるという視点とみんなで協働するという視点を大事にしたいと思った。」という感想があがりました。研修者に大切なことを学ぶことができた時間となりました。



## 計画指導訪問校に学ぶ Vol.3

【鶴岡市立広瀬小学校】(校長 伊田 美紀) 11月6日訪問  
学校教育目標「たくましく かしく 心豊かな子どもの育成」

- (1) 「広瀬しぐさ」を合言葉にした特色ある教育活動や「認め合い、支え合う学級」「心の居場所のある学級」等、自他を認め合う学級経営の充実に取り組んでいる。
- (2) 「自分事としてとらえる課題設定の工夫」「次につながる学習のまとめと振り返りの工夫」を重点とし、「授業が分かる」という児童の声を大切にして、授業の質の向上を目指している。
- (3) モジュール設定により日課表を工夫して放課後の時間を確保し、指導の準備や全職員による児童理解の時間を創出することで、ゆとりと教育活動の充実の両立に取り組んでいる。

【酒田市立琢成小学校】(校長 阿部 雅彦) 12月7日訪問  
学校教育目標「夢に向かって自分らしく輝き、仲間とともに未来を拓く琢成の子ども」

- (1) 先生方の穏やかな表情や温かな声かけ等により、学校が活気に満ちている。琢成小で目指している「信頼と承認の空間」を創り出すことができています。
- (2) 「学校生活の根底を支える生徒指導」「自治的風土の醸成」「自己肯定感を高めるために自己決定の場を大切にする」等、「生徒指導の実践上の視点」を大切にされた指導がなされている。
- (3) 対話・学びの土台となる聴き方指導、座席の工夫、相手意識を持たせる工夫等、「友だちと協働し、さらなる高みを目指す子の育成」に学校全体で取り組んでいる。